

学年	高校 3 年	教科	国語	科目	国語演習	単位数	3
教科書名		なし		副教材名	・共通テスト国語対策問題集標準から実践へ合冊版（桐原書店）		
コース・クラス		N進文系					

I. 目標

基礎学力到達度テストにて高得点を獲得するため、現代文・古文・漢文の総合的な知識の定着と読解能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広げる。また、自分の意見を文章にまとめ、他者に説明できる言語能力を養う。

II. 授業のねらい

- (1) 基礎学力到達度テストにて高得点を獲得するために、実践的な問題演習を多く取り入れる。
- (2) 大学の過去問題を使用した演習に取り組み、より難解で長い文章の読解力を養う。
- (3) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
- (4) 現代社会の問題について理解し、自身の意見を文章にまとめる。

III. 授業の進め方

- (1) 基礎学力到達度テストで高得点を取るため、過去問題を使用して、演習を中心に進める。
- (2) 語学的な知識、また漢字や語句の意味、文法などは小テストや自学自習にて養う。
- (3) ICT、副教材など各種資料を駆使して広い知識を学ぶようにする。
- (4) 自らの力で文章を理解し、説明できる言語能力を養成する。
- (5) 大学の総合型過去問題を用いて、自身の言葉で文章にまとめる。

IV. 学習上の留意点

- (1) 問題演習時間を多く取り入れるため、解答解説を丁寧に読むこと。
- (2) 予習として語句の意味や漢字の読み、文法などは各自で行うこと。
- (3) わからない点はそのままとせず、質問や調べることで解決に努めること。
- (4) 問題を解く際には時間配分を意識して解くようにする。

V. 定期試験

- 1 学期 中間試験 : 初見問題・私大過去問古文漢文
1 学期 期末試験 : 初見問題・私大過去問古文漢文
2 学期 期末試験 : 初見問題・私大過去問古文漢文

VI. 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物、授業の取り組み方などを総合的に評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	・現代文・古文漢文の問題演習を行う 私大過去問題 (基礎学力テストに向けての問題演習)	・定期試験 ・小テスト ・提出物	・問題演習に多く取り組み、解き方を理解する。 ・時間内に解ききる力を身につける。 ・現代文分野では、語彙力を高め、難解な長文を読み解く力を身につける。 ・現代社会の問題や背景を理解し、その知識を身につける。
	5	・現代文・古文漢文の問題演習を行う 私大過去問題 (基礎学力テストに向けての問題演習)		
	6			
	7			
二学期	9	・現代文、古文漢文の問題演習を行う 私大過去問題 (基礎学力テストに向けての問題演習)	・定期試験 ・小テスト ・提出物	・自分の意見を持ち、それを言葉で表現できる力を身につける。 ・情報を正確に読み取り、論理的に文章にまとめる力を身につける。 ・プレゼンテーションの仕方を工夫する。
	10	・私大総合型問題に取り組む 私大総合型過去問題 (プレゼンテーション)		
	11			
	12			

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。